

(倫理様式 2-2-1)

失語症における予後と年齢、重症度の関係 に関する研究

1. 研究の対象

平成 26 年 6 月～平成 31 年 3 月に当院で WAB 失語症検査を受けた失語症患者

2. 研究目的・方法

本研究の目的は、失語症者の予後を予測しやすくすることである。さらにそのデータを活用し、今後失語症者のリハビリ期間を推測しやすくすることをめざす。

研究期間：令和元年 5 月 7 日 ～ 令和元年 7 月 4 日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

WAB 失語症検査、FIM 等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

研究責任者：公益財団法人脳血管研究所 附属美原記念病院
リハビリテーション科 山田 祐也